

後志利別川水系河川整備基本方針の骨子

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 流域及び河川の概要

(概要)

- ・ 水源から河口までの概要
- ・ 幹川流路延長、流域面積、流域の土地利用
- ・ 北海道南部檜山地方における社会・経済・文化の基盤をなしている
- ・ 流域の地質、年間降水量

(流域の自然環境)

- ・ 上流部は、山際部には北限となるブナの自然林が残り、サクラマス・カワヤツメの産卵床がある
- ・ 中流部は、瀬と淵が交互に見られ、アユ・カワヤツメの産卵床がある
- ・ 下流部は、ヤナギ群落やオオヨモギ群落等が広がっており、渡り鳥の中継地となっている

(災害の歴史と治水事業の沿革)

- ・ 昭和 4 年 8 月洪水に基づき、昭和 9 年より今金町市街部から河口まで低水路掘削、築堤等工事に着手（河口計画高水流量 1,890m³/s）
- ・ 昭和 37 年洪水にかんがみ、昭和 44 年に工事実施基本計画を策定（今金 計画高水流量 1,250m³/s）
- ・ 昭和 54 年に洪水調節施設として美利河ダム建設に着手、平成 3 年に完成
- ・ 平成 5 年 7 月に発生した北海道南西沖地震で、流域では、堤防・護岸等、多大な被害を受けた

(河川水の利用)

- ・ 開拓農民による農業用水の利用に始まり、現在は約 6,000ha に及ぶ農地のかんがいに利用
- ・ 水力発電、水道用水、消流雪用水等

(水質)

- ・ B O D 75% 値は環境基準値を満足

(河川の利用)

- ・ 上流域は、自然観察、カヌー、アユ釣り
- ・ 中下流域は、高水敷を利用した公園等が整備

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(治水、利水、環境の総合的な方針)

- ・ 治水、利水、環境に関する施策を総合的に展開
- ・ 水源から河口まで水系一環とした基本方針に基づく
- ・ 健全な水循環系の構築を図るため、流域一体となった取組を推進
- ・ 河川の有する機能を十分発揮できるよう維持管理を適切に行う

ア 災害の発生の防止又は軽減

(流域全体の河川整備の方針)

- ・ 美利河ダムにより洪水調節を行うとともに、河川環境の保全等十分配慮しながら堤防の整備、河道掘削等を行い、計画規模の洪水を安全に流下させる
- ・ 関係機関と連携・調整を図りつつ、必要に応じて内水被害軽減対策を実施

(河川管理施設の管理、ソフト対策)

- ・ 河川管理施設の機能の確保及び施設管理の高度化、効率化

- ・ 河道内樹木の適切な管理
- ・ 情報伝達体制の充実等の総合的な被害軽減対策
- ・ 本支川及び上下流バランスを考慮し、水系一環した河川整備

イ 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

（河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持）

- ・ 今後とも関係機関と連携して広域的かつ合理的な利用の促進を図るとともに、必要な流量を確保するよう努める
- ・ 情報伝達体制の整備とともに、水融通の円滑化などを関係機関及び水利使用者等と連携して推進

ウ 河川環境の整備と保全

（河川環境の整備と保全の全体的な方針）

- ・ 良好な河川環境を形成している河畔林や水際については、治水面と整合を図りつつ保全に努める
- ・ 河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、空間管理等の目標を定め、地域と連携しながら川づくりを推進

（動植物の生息地、生育地の保全）

- ・ 多様な生態系を育む良好な河川空間の保全
- ・ アユ等、魚類の生息環境を保全に努めるとともに、海域と河川の連続性を確保するよう努める

（人と河川との豊かなふれあいの確保）

- ・ 沿川の歴史・文化等を踏まえ、交流の場、自然とのふれあいの場、環境学習の場等として、だれもが安心して親しめる河川空間となるよう、関係機関や地域住民と一体になって取り組む

（水質）

- ・ 現状の良好な水質を維持し、清流を保全するため、下

水道等の関連事業や関係機関との連携・調整・地域住民との連携を図る

(モニタリング)

- ・環境に関する情報収集やモニタリングを適切に行い、河川整備や維持管理に反映

(地域の魅力と活力を引き出す河川管理)

- ・河川に関する情報を地域住民と幅広く共有し、防災学習、河川利用に関する安全教育、環境教育等の充実を図る
- ・住民参加による河川清掃、河川愛護活動等を推進

2 . 河川の整備の基本となるべき事項

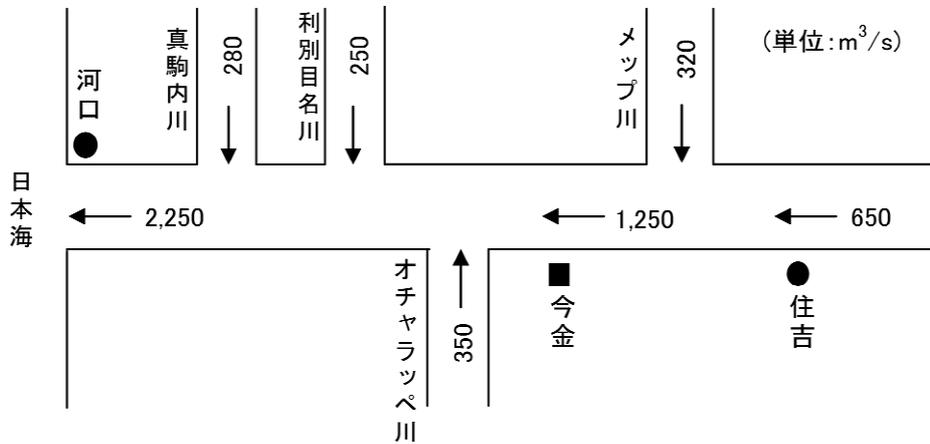
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量等一覧表

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量 m ³ /s	洪水調節施設調節流量 m ³ /s	河道への配分流量 m ³ /s
後志利別川	今金	1,600	350	1,250

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

後志利別川計画高水流量図



(3) 主要地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

主要な地点における計画高水位及び川幅一覧

河川名	地点名	河口又は合流点からの距離 (km)	計画高水位 T.P. (m)	川幅 (m)
後志利別川	河口	0.3	3.24	450
	今金	16.0	16.59	270
	住吉	26.0	32.60	130

(注) T.P. : 東京湾中等潮位

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するために必要な流量に関する事項

- ・ 今金地点 : 利水の現況、動植物の保護等を考慮し、概ね $3m^3/s$